

## 議会報告会 実施報告書

実施日時	平成24年11月15日（木）19:00～20:41		
会場	松原公民館	来場者数	14人
主担当班	D	北條正、力野豊、山本貴美子、常岡大三郎、高野新一	
		司会進行	力野 豊
		報 告	(1) 北條 正                      (2) 高野新一
		パワポ操作・記録	常岡大三郎、山本貴美子
副担当班	B	前川和治、田中和義、有馬茂人、北村伸治、原幸雄、増田敬	

### 1 質疑応答及び意見

#### (1) 9月定例会の主な審議内容報告

- Q1：駅前のソーラーパネルをアーケードの上部に設置できないか。  
A1：強度面、メンテナンス面など費用対効果で床置きがよいとの結果になった。
- Q2：ソーラーパネルは費用対効果があがるのか。  
A2：コスト面については委員会の中でも何度か議論になっており理事者側にも質している。エネルギーについて多角的な面からということを強調していた。
- Q3：駅前にソーラーパネルを設置しようという発想がどうして出てきたのか。  
A3：千葉准教授は、敦賀市はエネルギーの街との印象を提起していきたいとのことである。
- Q4：原発ゼロを目指すとの意見もあったが、具体的に地元として反論を強めることはできないか。特に安全性の議論はないか。  
A4：津波対策、防水対策、電源対策など理事者側から説明を聞いている。ただし、まだ安全基準など定かでないので反論するまでに至っていない。
- Q5：原発は大丈夫という声をあげてほしい。  
A5：議会としても要請して取り組んでいる。
- Q6：松原の人はどこに避難すればよいのか。

A 6 : 津波を想定しての話かと思うが、敦賀市には避難マニュアルがあり、随時改定もされている。地区を通じて周知されているものと承知している。

意見：私の周辺には「原発はいらぬ」という意見が多い。

## (2) 議員定数についての検討状況報告

Q 1 : 同じような人口や財政規模の他市と比べて敦賀市の議員定数は多いのか少ないのか。

A 1 : 県内では、越前市は人口が8万人で定数は2名減らして22人。坂井市は人口が9万3千人で定数が26人である。

意見：市議会の活動が見えない。衆議院を見ても定数削減が世の中の流れである。削減の方向がよいのではないか。敦賀市と同等の市と比較することが大事ではないか。また、議員だけで検討するのではなく、市民も入れて検討を進めたほうがよいのではないか。

意見：検討シートでいろんな機能などの検討をしているが、市民が聞いてもわかりにくい。市民が納得できる説明が必要。また、定数を減らすと、組織に属さない人で落選する人が出てくるのではないか。むやみに減らすのもどうなのか。よく検討して敦賀市にとって最適な定数を決めてほしい。

欠席者がいた場合とあるが、市民から選ばれているのだから100%出席という使命感がなければいけない。

## (3) 市民の市議会や市政へのご意見

意見：今日の議会報告会への参加者が少ない。どこに原因があるのかわからないが、もう少し参加者が増えるよう努力してほしい。

→ いろいろなPRもしているが、今後よりよい周知方法を検討したい。

意見：お金のことがひとつも書かれていない。敦賀市は500億の借金があると聞くが、議員を減らすとどれくらいの経費削減になるかなどを書いてほしい。もっとお金を上手に使ってほしい。

意見：市民が関心を持つように、議会報告会は年に何回か各町内の会館などで小刻みに実施することも必要だ。

意見：震災がれきをなぜ受け入れたのか。

→ 敦賀市の焼却炉に余裕があり、また、議会としても震災がれきを受け入れる決議をしている。

敦賀市議会議長 堂前 一幸 殿

平成24年12月18日

敦賀市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

代表者         D班        北 條        正